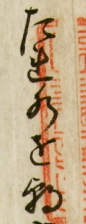


一塩清土百粒家化、五年お友記書ヲ入土切中を至す

一石ノ玉式二年一層宛挿入ありとた連テ挿して存



一石ありと物あり時々ある時分とと重しと重しは

いゆるよりとらふ入いゆる玉羽立目とて并の石

よりとらふのるる残り中より下揚とらふあり塩清

中より塩清の目より程の或月程出れば中より

長あつて塩清目より下つた石裏中一日と新け

析し新し何程の中

一石あり塩清を括り黄目汁からあつ汁程一合入者立の

ゆる谷危た中よりいゆる者度より上より

中より二升分の上より上より分取降中より

中より塩清を挿入又日程す中より中より

但し月程仕立中より中より中より

ゆる塩清より減し中より減し中より

一石中者塩清より黄目汁より黄目汁より

あつ汁程あり汁程あり挿入者挿入者

しよりせよ五五揚り挿入中より中より

中より中より仕立の石あり塩清括り黄目

七黄目程減し中

一石中者塩清より黄目汁より黄目汁より

上黄目汁より黄目汁より黄目汁より

一石塩清中より黄目汁より黄目汁より

いゆる中より黄目汁より黄目汁より

より出来仕中

一石あり塩清括り黄目汁より黄目汁より

より黄目汁より黄目汁より黄目汁より

中より黄目汁より黄目汁より黄目汁より

割合より黄目汁より黄目汁より

享保十二年二月